

ひょうごの土地改良



新たな“丹波ファン”の獲得に向けて！（ふるさとむら活動報告）

目次

1. 挨拶 水土里ネット兵庫 会長 西村康稔	2
2. 挨拶 兵庫県知事 井戸敏三	3
3. 挨拶 全国水土里ネット会長会議 顧問 進藤かねひこ	4
4. 農業・農村の現状と地域活動について	5
5. 次代につなぐ『ため池』フォーラム in 東播磨	5
6. 平成27年度土地改良区役職員研修会	6
7. 東条川疏水ネットワーク博物館オープン記念シンポジウム	6
8. 土地改良換地士試験合格者発表	6
9. 土地改良区めぐり	7
10. お知らせ、主な会務の状況	8



新春を迎えて

水土里ネット兵庫（兵庫県土地改良事業団体連合会）

会長 西村 康 稔

（衆議院内閣委員長）

（衆議院議員）

新年明けましておめでとうございます。皆様方には健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

会員の皆様方には、何かとご高配を賜り、農業農村整備事業の推進に大変なご貢献を頂きましたこと心から感謝申し上げます。

昨年10月に2年10か月務めました内閣府副大臣を退任し、1月4日に開会された通常国会において、衆議院内閣委員長に就任しました。引き続き、内閣の取り組む重要課題について責任ある立場で取り組むとともに、当連合会会長として、農業農村整備事業の推進に全力で取り組んでまいります。

土地改良予算に関しては、昨年は二階会長の下で、大きく削減された予算の復活に向けて「闘う土地改良」として取り組んだ一年でした。その結果、平成27年度当初予算（3,588億円）と比較し、平成27年度補正予算、平成28年度当初予算を合わせて1,222億円の増額（4,810億円）と、夏の概算要求における1,000億円増額を2割以上超える額を確保するという成果をあげることができました。これも関係者の皆様と一丸となって「闘った」成果であり、改めて御礼申し上げます。

また、昨年TPP交渉が大筋合意されたことを受けて、政府では「総合的なTPP関連政策大綱」が決定されました。土地改良に関するTPP対策としては、土地改良関係の補正予算990億円のうち950億円が、農地の大区画化・汎用化や畑地・樹園地の高機能化といった、体質強化対策に資する事業として確保されたところです。さらに、私が自民党TPP総合対策実行本部事務局長として取りまとめた「TPPに関する総合的な政策対応に向けた提言（自民党）」に基づき、引き続き、生産者の不安払拭や生産者の応援等に資する継続的な検討を行うこととしており、政府の大綱に記載のあった「真に必要な基盤整備を行うための土地改良制度の見直し」についても、平成28年秋を目途にとりまとめを行って参ります。

土地改良予算に関して、現在は回復傾向にはありますが、平成21年度の土地改良関係予算5,722億円に比べると依然として道半ばという状況です。引き続き計画的な事業の実施が行えるよう、土地改良予算の回復を目指し、全力で頑張っております。

兵庫県の農業の発展のために、土地改良事業の果たすべき役割は大きなものがあります。その責任と使命を果たすべく、本年も会員の皆様と共に心一つに頑張っております。

結びに、本年が皆様方にとって実り多き年でありますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



～ 兵庫創生に挑む ～

兵庫県知事

井戸敏三

新年あけましておめでとうございます。

国内では急速な人口減少・少子高齢化、世界では地域紛争が激化する一方で、国境を超えた経済の一体化が進展しています。内外とも変化の激しい今、兵庫においても、新たな発展の枠組みが求められています。

昨秋、本県は、5年間の地域創生戦略を策定しました。今後50年で100万人以上の人口減少が見込まれます。少子化と高齢化も年々進行します。その中でも兵庫が活力を保ち、将来への希望を持てる地域を目指さねばなりません。それだけに、地域の多様な資源を最大限に活用して、ふるさと兵庫を愛する人々とともに、「安全安心で元気なふるさと兵庫」を創らねばなりません。

第一は、安全安心の確保。安全こそが県民生活と社会経済活動の基^{もと}です。ハード・ソフト両面から防災・減災対策を進め、危機に強い地域を創ります。また、医療、福祉の更なる充実により、安心して暮らし続けられる体制を整えます。

第二は、多彩な人材が活躍できる社会づくり。女性、若者、高齢者、障害者の一層の社会参加を促します。そのためにも、子育て環境の整備や、個性を伸ばす教育に努め、県民一人ひとりの自己実現を目指します。

第三は、活力あふれる地域づくり。科学技術基盤を活かした新産業の創出、大都市近郊を活かす農林水産業の確立など、産業の競争力強化に取り組みます。また、高速道路網の整備、広域観光圏の形成などにより、内外との交流の拡大につなげます。

未来は、私たちの手で変えられる。

そのため、戦略では、自然増や社会増対策を行うとともに、人口が減る中でも実質的な経済成長を実現するという目標を掲げました。地域、地域の持つ多様な資源を活かしつつ、兵庫としてのまとまりを発揮する「多様性と連携」を基本に、皆さんと共に挑みます。「兵庫創生」に向けて、さあスタートを切りましょう。

各地域 資源を活かし連携し めざすは兵庫の新しい展開



“闘う土地改良”の先頭に立って

全国水土里ネット会長会議
顧問 進藤 かねひこ

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、良き年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

私は、昨春、新しく全国土地改良事業団体連合会会長に就任された二階俊博先生が提唱された「闘う土地改良」に込められた真義に感銘し、また触発され、政治活動の途を志す決意を固め、昭和61年に入省以来、29年間勤めてきた農林水産省を昨年の6月、中山間地域振興課長を最後に辞職しました。

その後、7月29日には都道府県土地改良事業団体連合会会長会議（全国水土里ネット会長会議）顧問を仰せつかり、全国各地を回り、その実情を聞かせて頂きました。移動した距離は約30万km、日本の農業水路の総延長約40万km（地球10周分）の4分の3に達しました。全国を巡回する中で、我が国の国土には人間の体でいうと動脈と静脈にあたる農業用水路・排水路が隅々まで張り巡らされ、肉体にあたる450万haの農地と一体になって国民の食料を支えており、多面的機能の適切な発揮を通じて、まさに日本の国土を支えていることを改めて実感した次第です。

また、様々な課題も聞かせて頂きました。農業・農村の現場で聞く声は本当に切実で、心に響きました。過去・現在・将来とも国民の食料を支える農地と水、それを可能としている土地改良は「日本の命綱」ではありますが、その命綱が切れそうになっていることに強い危機感を禁じ得ません。

全国各地を回り始めてから約4か月経た時点で、私なりに全国の声を集約し、全国水土里ネット会長会議に報告しました。そして、その報告した内容を私に課せられた5つの使命として承り、その使命を果たすため全身全霊で取り組んでまいります。

1. 土地改良の予算確保に全力
2. 日本型直接支払制度の充実に全力
3. 災害に強い農山漁村づくりに全力
4. 自然豊かな美しい農山漁村の継承に全力
5. 農業と農山漁村への国民の理解に全力

この「5つの全力」を通じて、「安全で安心な食」、「大切な農地と水」、「美しい農山漁村」、この3つを守り抜くことを約束します。

最後に、今年は、土地改良にとって剣ヶ峰と言ってよい程の大きな節目の年となります。私は、幅広い国民の皆さんのご理解と土地改良に関わる私たちの結束を源泉として、「闘う土地改良」の先頭に立って全力疾走することを改めてお誓いします。

本年が皆様お一人おひとりにとって良き年となることを祈念し、私の年頭のご挨拶と致します。

農業・農村の現状と地域活動について

平成27年12月5日、土地改良施設等の保全管理研修会がラッセホール2階ローズサルーン（神戸市）で開催され関係者約500人の参加がありました。

研修内容は、全国水土里ネット会長会議 顧問 進藤かねひこ氏による「農業・農村の現状と地域活動について」と題して、農家出身の目線での食糧供給力・自給力・自給率の低下などに対する今後の農業・農村振興について、講演が行われた。続いて、兵庫県農地整



進藤 金日子 (しんどう かねひこ) 氏



会場風景

備課 石井 龍太郎課長から「多面的機能支払制度の法制化と兵庫県の取組み」と題して講演があり、法制化により制度が安定化したことや、農振農用地以外での取組みが可能となったこと、更には田んぼダムやため池の事前放流の照介、「地域資源保全管理構想」策定時の地域での話し合い、人・農地プランの策定や見直しの必要性等の話があった。

次代につなぐ『ため池』フォーラム in 東播磨

平成27年11月2日、東播磨地域にあるため池の将来について考える「次代につなぐ『ため池』フォーラム in 東播磨」が、加古川市民会館大ホールで開かれました。

主催した「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」（94団体）の会長で作家の玉岡かおるさんは「ため池は絶滅にひんしている」と危機を強調する一方で、ため池周辺をコウノトリが飛び交う夢を語られた。

東播磨地域のため池は約600あるといわれ、農業用に作られたが、管理してきた農家の高齢化など課題がある。

約1500人の来場者で満員となった会場では、玉岡さんのナレーションで協議会の13年の取り組みを写真で振り返った後、大阪府立狭山池博物館や福岡県春日市の関係者の話や、関係市町長全員の出席のもと、県立人と自然の博物館 館長 中瀬 勲氏のコーディネートにより、管内の取り組みや、ため池の将来像について話し合われた。



玉岡かおる 協議会長

平成27年度土地改良区役職員研修会

本会は平成27年11月25日・27日・30日に、土地改良区役職員を対象とした研修会を、兵庫県土地改良会館及び豊岡市日高農村環境整備センターで開催し、205人の参加をいただきました。

研修内容は、近畿農政局土地改良管理課の赤井指導官・三谷課長補佐より「法定図書等について」、農村振興部 南 地方参事官・設計課の石島課長より

「今後の農業農村振興について」、兵庫県農業経営課の姫野課長・上田主幹より「農地中間管理機構について」、兵庫県土地改良事業団体連合会 総務課 西山主査より「マイナンバー制度について」、水土里情報課 金子課長より「土地改良区が管理する資料の維持・管理方法について」を講義いただき、事務局より「農業基盤整備資金の活用について」説明し閉会した。



開会の挨拶 梶村常務理事

東条川疏水ネットワーク博物館オープン記念シンポジウム

東条川疏水（そすい）について地域全体で学びながら次世代に引き継ぐために設けられた「東条川疏水ネットワーク博物館」のオープンを記念したシンポジウムが平成27年11月23日、加東市上三草のやしろ国際学習塾で開かれました。

記念講演、学者や関係者らによるパネル討論があったほか、親子で参加できるアートワークショップが行われました。



(親子アートワークショップ)



(PRコーナー)



(東条川疏水の日&博物館開館宣言)

平成27年度土地改良換地士資格試験合格者の発表

本年度土地改良換地士の合格発表が平成27年11月17日に行われた。県内からは、宍粟市 産業部 農地整備課の川本係長、が14.6%の合格率のなか、見事に合格されました。誠にありがとうございます。

氏名	所属・役職
川本 正史	宍粟市 産業部 農地整備課 工務係長 (光都土地改良センターに研修職員として2年間在籍した。)



(光都土地改良センター 鈴木所長・宍粟市 川本係長)

土地改良区めぐり

県内の土地改良区を紹介するコーナーです。

「環境にやさしい農業に取り組む郷」

◀◀真南条土地改良区▶▶

理事長 酒井 勇

当土地改良区は、兵庫県中東部の篠山市にあり、国道372号線が中央を貫く東西に長細い山間地域で、地区受益面積は48ha、組合員数94名、役員9名で運営をしています。

昭和56年10月に真南条上集落と真南条中集落を受益地とした「真南条土地改良区」を設立し、狭小・不整形で用排水路、道路も不完備であった農地が、団体営ほ場整備事業により、7年間の歳月（S56～S62）を経て優良農地へと生まれ変わりました。



(役員一致団結)

完了後は、造成された土地改良施設を各集落の農会や水利関係組織等で農業生産性等の向上のため適正な管理を行っています。

しかし、事業完了の頃から、国の農政が大きく変化し、米の生産調整により年々転作面積が増えて行った時期で、水稻中心から転作を取り入れた土地利用型農業への転換期を迎えました。

また、当地域も他地域に負けず劣らず、農業従事者の高齢化、後継者及び担い手不足に加え、農産物の価格低迷等が農業を営んでいく上で大きく深刻な課題となってきました。

このような状況を踏まえ、将来の農業経営の方向性を検討していく中、今後は個別経営から組織経営へ進むべきとの結論に達し、平成2年に「真南条上共同事業改善部会」を立ち上げ、平成11年8月には土地改良区全域を受益地域とする「農事組合法人真南条営農組合」（認定農業者）を設立し、42haの農地集積を行い、水稻26ha、丹波篠山黒大豆5.5ha、丹波篠山黒枝豆等10.5haの栽培による土地利用型農業で耕作放棄地の防止はもとより、環境創造型農業の推進や農業を通じた都市農村交流、また、神戸大学農学部と共同開発をした新特産品「丹波の赤じゃが」（ネオデリシヤス）を使ったアイスクリームやケーキ、ポテトチップスの商品化と同組合女性部が、地元食材でおもてなしの農家レストラン「あかじゃが舎（や）」を平成27年9月にオープンさせ、6次産業化へも積極的に取り組んでいます。これらの活動は、地域にとっても良い刺激となり、新しい農村の魅力発掘や人材育成につながっています。



空き家を活用したレストラン



あかじゃが舎ランチ

お知らせ：土地改良区特定個人情報保護に関する規定（例）について

平成28年1月よりマイナンバー制度がスタートしましたが、事業主は、利用に当って、特定個人情報を保護するための措置を講ずる必要があります。

全国土地改良事業団体連合会は、「土地改良区特定個人情報保護に関する規程例（案）」を作成しておりますので、内容、データ等が必要な方は、本会までお問合せ下さい。

お問合せ先：兵庫県土地改良事業団体連合会 総務課まで（TEL 078-341-0500）

主な会務の状況（H27.11.1～12.31）

月 日	内 容	場 所
11月 2日	次代につなぐ『ため池』フォーラム in 東播磨	加古川市
11月 6日	平成27年度21世紀土地改良区創造運動表彰中央選考委員会 水土里ネット天満大池地区（兵庫県天満大池土地改良区）	東京都
11月 7日	TTふれあい バスツアー（淡山疏水・東播用水）	稲美町・三木市・ 神戸市西区
11月19日	兵庫県土地改良事業団体連合会 理事会 監事会・中間監査	兵庫県土地改良会館
11月20日	平成27年度 土地改良換地士部会研修会	淡路市
11月25日	平成27年度 土地改良区役職員研修会（豊岡会場）	豊岡市
11月27日・30日	平成27年度 土地改良区役職員研修会（神戸会場）	兵庫県土地改良会館
12月 5日	第13回 銀の馬車道ため池ウォーキング	福崎町
12月 5日	第8回ひょうご水土里のふるさとフォーラム	神戸市
12月15日	平成27年度 兵庫県融資拡大連絡会議	兵庫県土地改良会館
12月18日	兵庫県農業集落排水事業連絡協議会総会	兵庫県土地改良会館

土地改良区等の組織運営面にも積極的に係わります。
なんでもご相談ください。（相談日・毎週月曜日）



みどり
水土里ネット
新しい農業農村を目指して

み どり

「水」「土」「里」

の未来を創造し働きます。

「水」……農業用水や地域用水
「土」……土地や農地
「里」……農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間



水土里ネット兵庫
兵庫県土地改良事業団体連合会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-5-12 兵庫県土地改良会館
TEL 078-341-0500 FAX 078-341-0507
<http://www.hdrnet.or.jp/>